



バットの森づくり植樹祭

爽やかな秋晴れの中、東川国有林にてバットの森植樹祭に参加しました。関係各位およそ100名が集まり、約0.2ヘクタールの面積にアオダモ苗木を500本植栽しました。バットとして用いられる成木になるまでには60年から70年の歳月が必要です。

主な内容

一般質問 / 3 議員が 4 件を問う	3 P ~
第 3 回定例会 補正予算審議	6 P ~
第 3 回定例会 条例改正等	8 P ~

第3回定例会



平成30年第3回定例会は9月11日に招集され、休会をはさみ19日まで開かれませんでした。

初日11日は会期の決定を行い、2日目14日は町長と教育長の行政報告、平成29年度7会計決算の委員会付託、平成30年度新冠町一般会計等3会計の補正予算の説明を行い、条例改正1件を可決しました。

最終日19日は、3名の議員による4件の一般質問の後、平成30年度補正予算の審議後、各会計補正予算の採決を行い、原案のとおり可決しました。

また、林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書を採用し、各関係機関へ提出することとしました。

● 9月定例会の日程

- 1日目 (9月11日)
開会10:00 閉議10:03
1 会議録署名議員の指名
2 会期の決定
- 2日目 (9月14日)
開会10:00 閉議12:02
1 会議録署名議員の指名
2 諸般の報告
(閉会中の諸行事出席状況報告等)
3 行政報告
4 新冠町固定資産評価審査委員会委員の選任
5 報告6件 (平成29年度健全化判断比率及び資金不足比率についてほか)・・・受理
6 議案1件 (集会施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例)・・・可決
7 議案3件 (一般会計補正予算ほか2会計の提案説明)
- 3日目 (9月19日)
開会10:00 閉議13:22
1 会議録署名議員の指名
2 一般質問 (3議員4件)
3 議案3件 (一般会計補正予算ほか2会計の審議)・・・可決
4 発委1件 (意見書)・・・可決

平成30年第3回定例会

鳴海町長 行政報告

- ◆ J R日高線の復旧に向けた取組み等について
- ◆ 農作物の生育状況と販売状況について
- ◆ 国保診療所の病床再開後における運営状況について
- ◆ 台風21号及び平成30年北海道胆振東部地震にかかる被害状況等について

山本教育長 教育行政報告

- ◆ 「教育委員会点検・評価報告書」の提出について
- ◆ 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について

人 事

新冠町固定資産評価審査

委員会委員の選任について

【内容】新冠町固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、新冠町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。

大宮 仙司 さん(字岩清水)

防災対策



武藤勝圀議員

問 災害に強いまちづくりを

答 避難に勝る防災なし

武藤議員

大きな災害が連続して起きており、「災害に強い町づくり」が求められている。その観点から5点伺う。

- ①平成28年度第2回定例会では、土石流危険渓流箇所7箇所、急傾斜地崩壊危険箇所7箇所の基礎調査を終え、平成31年度までに残り31箇所の基礎調査を完了する予定との報告であったが、その後の進捗状況を伺う。
- ②現在、土砂災害危険区域に居住している人数・戸数は。
- ③土砂災害に関するハザードマップの完成は調査終了後と解してよいか。
- ④現時点での自主防災組織の組織率と活動状況及び、地域防災マスターの活用状況と今後の育成計画を伺う。
- ⑤最近の問題として、逃げない人をどう避難させるかが課題。最終的には個人の責任にしても助かる命をどう助けるか、行政がどう関わるのかは検討課題と思うが、現時点での検討状況を伺う。

鳴海町長

①当町の土砂災害危険箇所が全体で60箇所から2箇所増え、62箇所に変更している。

現在では基礎調査を実施中で、調査結果を基に土砂災害警戒区域の指定を行っていく予定。

②土砂災害警戒区域に居住している

人数・戸数は現在調査中で、平成31年度調査完了予定。

③ハザードマップの完成は、道の平成31年度の基礎調査終了後となる。

④自主防災組織の組織率は55.9%で、主な活動内容は自主研修の開催や防災資機材の備蓄のほか、避難訓練も行っている。地域防災マスターの役割は重要となってくるため認定者の増加に努めたい。

⑤行政として1人の犠牲者も出さないためには、あらゆる手段を用いて避難していただくことを最優先に取組んでいきたい。避難に勝る防災なしの言葉通り、災害時には避難することを習慣付け、避難訓練を継続実施していく。

武藤議員

①危険区域に居住している住民にはその旨を伝えていくのか。

②自治体として避難情報を出すか出さないか悩むと思うが、住民の命を守る立場から躊躇なく発令すべき。

鳴海町長

①現在44箇所、140戸の方が居住してお

り、まず住民説明をしなければならぬ。了解を得て指定の手続きもあるため慎重に進めていきたい。

②避難準備情報や避難勧告、避難指示については、私も躊躇なく発令したいと考えている。

武藤議員

土砂災害ハザードマップの作成など、急いで解決すべき問題が明らかになり、「災害に強い町づくり」は、ハード面、ソフト面の両面から考えていく必要がある。「災害に強い町づくり」という観点から、どう取組んでいくかを伺う。

鳴海町長

予算にも限りがあるためご理解いただきたい。基礎調査は道が行うもので、道には声を上げていきたい。

私も「災害に強い町づくり」を公約としているので、安心で安全なまちづくりに努めていく。



先般行われた避難訓練の様子

JR日高線復旧

問 日高線は将来に残すべき貴重な財産

答 日高線の果たしてきた役割は大きい

武藤議員

政府は7月、JR北海道に対して2年間で400億円台の財政支援をするとしたが、日高線にはバス転換を迫っている。今年、北海道は命名150年を迎えた。鉄道の果たしてきた役割を検証し、日高線は将来に残していくべき貴重な財産と思うが見解を伺う。

鳴海町長

日高線は開業以来、長年にわたり重要な交通手段として、鉄道の果たしてきた役割は大きいものがある。平成

27年1月の高波の影響を受け、現在に至っている。平成29年2月には、鶴川・様似間の復旧断念、バス転換への提案があった。これに対し沿線自治体としてはJR日高線の復旧を断念することなく、復旧に向けて取組みを確認するとともに、今後はJR提案も含めて町長会議で検討を進めていく。

武藤議員

日高線は地域の大切な足であり、胆振日高を結ぶ歴史的な文化遺産。日高町村会などが最初から掲げてきた「全線復旧」、この立場を堅持して本当に利用しやすい日高線を作り上げていく必要があると思うが。

鳴海町長

不通になってから3年半以上経過していること、存続のためのJR北海道への管内7町による13.4億円支援要請には、町財政上応じられない。海岸護岸の恒久復旧については、現在のJR北海道の財政状況では不可能であり、国土保全の立場から道とともに法・制度の改正に向けた行動が必要である。鉄路復旧時にあつては、便数が半減化していること、さらに北海道交通政策統合指針の中で、収支が極めて厳しい線区は地域に最適な交通ネットワークに向け検討が進められており、統合的な観点から町長会議で検討していく。

被害状況

問 被害の状況と復興策を問う

答 現在の制度活用と自主防災が肝要



竹中進一議員

竹中議員

今回の台風21号による被災は一部地域に集中したが、度重なる被害によって再建の意欲が失われないよう手厚い支援策を講じる考えはないか。

地震による長時間の停電により、自家発電機のない酪農家は搾乳や冷却もできず、生乳も受け入れられない状態となり、462万円分廃棄とのことだがその戸数は。また、乳房炎に罹患した実態と生乳廃棄などの損失救済は。ピーマンについても選果場の稼働ができなかったことによる影響はなかったか。

鳴海町長

ビニールハウスの被害はビニールが剥がれる等を除き、3戸で全壊1棟、半壊4棟、1部損壊1棟、収穫不能となった分を含め308万円の被害。ハウス再建対応は「野菜促成栽培施設整備事業」で利用を希望される農家に対応する。

酪農では23戸の生乳約46トンが廃棄された。停電による被害のため、場合によっては電力会社や乳業会社のインフラ整備が問われる場合があり、過去には原発事故で和牛の風評被害に対し損害賠償した事例がある。

今後どのような検証・評価がなされるか現在是不透明。

ピーマンについては、選果場の受け入れを停止したのが6日の午後のみで、品質への影響はほぼない。

天災による損失を町が補填するのは事務的・財政的に困難。個人で備えるには限界はあると思うが、農業共済制度や災害保険への加入、今回の場合発電機の備え等、自主防災に努めることが肝要。

竹中議員

ハウスを再建するには、強度を上げるか移設をするかなど高額な費用がかかる。新たな助成制度を設けては。

万一に備え大型自家発電機が必要だが、高額なため災害時事前にリース会社と契約するか、新たな補助制度など農協とともに取り組むべきではないか。

鳴海町長

ビニールハウスの強度は生産者個々が補強の工夫をしており、新設の際は野菜促成栽培施設整備事業で、資材やピッチの間隔など規定を設けず生産者の意向に沿う内容としているため、そちらで対応してもらいたい。

自家発電機は従前からの課題でもあるため、農協へ対応を求め

防災計画

問 タイムラインは策定済みか

答 関係機関と協議し策定する



但野裕之議員

但野議員

7月上旬の西日本豪雨で、様々な課題が浮き彫りになった。防災体制は万全・盤石であったはずのものが、脆くも自然の脅威の前に露呈された。このような中、タイムラインが注目されている。

国交省は2014年から導入を始め、道内82市町村を含む730市町村で策定されている。さらに、関係機関を加え交通機関の通行止めや、住民避難の手順などを網羅した多機関連携型タイムラインの策定も相次いでいる。検証結果として、首長が判断に迷うことなく被害の最小限化有効としている。

当町においても、地域の特異性を十分に理解・把握した上で、関係機関と連携した策定が必要。

策定されていれば、迷うことなく市町村が発令する避難準備、高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示と順を追って的確に発令することができ、当町ではタイムラインは策定済みなのか。

鳴海町長

近年、全国的な豪雨災害により、タイムラインの存在がクローズアップされている。道内のほとんどの自治体で運用されていないことから、道が中心となり策定が進められている。

当町は策定していないが、水害時における避難勧告等の判断・伝

達マニュアルに基づき、適宜判断している。特に大雨災害時には、インターネットにより新和厚別水位局、朝日姉去水位局、豊田水位局の3箇所を監視するほか、職員による目視観測地点を設け、水位変化を監視し河川管理者である道が定めた基準に基づき避難勧告・避難指示等の判断を行っている。

現在、道による新冠川・厚別川洪水浸水想定区域図策定業務及び新冠川水位予測システム検討業務が今年度中に完了が見込まれ、低コストの危機管理型水位計の設置も協議中。その成果品等を基に関係機関と協力し、タイムラインの作成に取り組む。

但野議員

道との連携を図った上での策定とのことだが、早急に防災会議を開き、地区防災計画の中にタイムラインを明確に策定すべきでは。

防災はまちづくりの最重要課題と考える。万全で盤石な防災体制はない。タイムラインの策定・導入を急いだ中で、可能な限り地域の防災意識と防災力の向上を目指すことで住み良い、暮らし良い安心・安全なまちづくりが実現できるのでは。

平成30年第3回定例会一般質問



議会を傍聴してみませんか。

第4回定例会は、12月に開会の予定です。

日程等は、議会事務局までお問い合わせください。
(電話 47-2559)

鳴海町長

タイムラインの策定には河川管理者である道との連携が重要。個々の調査が済まなければ、町としても取進めていくことができない。

まず逃げるということが一番大事。そのことを町民に広く周知したい。道に対しては急ぐよう要求する。

※タイムラインは行政や企業・住民などが行う備えを予測される災害の数日前から時系列で網羅する防災行動計画。

第3回定例会 補正予算の審議

一般会計（歳出）

【内容】既定予算に1億2827万円を追加し53億118万8千円とした。

総務費

定住移住促進住宅取得奨励金

15万円

荒木議員

申請があった13件の内訳は。

原田企画課長

新築で町内業者が2件、町外業者が6件、中古住宅取得が5件の合計13件。

中古住宅リフォーム補助金

150万円

荒木議員

①補助金の申請は、完成検査終了後でよいか。

②申請物件5件の町内別は。

③今後申請があった場合の対応は。

原田企画課長

①その通り。

②北星町に3件、中央町に1件、節婦町に1件で、合計5件新たに申請があった。

今後も参加を呼び掛けていきたい。

民生費

介護職員初任者研修費助成金

15万円

荒木議員

①研修の開講日は。

②町外者を含め、受講者は何名か。

鷹薮保健福祉課長

①9月22日開講。

②20名の定員に対し、町内受講者8名、町外受講者が3名で計11名。

荒木議員

①受講者に応募動機等の聞き取りは行っているのか。

②20名の定員で受講が11名、この人数となった分析は。

③介護現場は恒常的な人材不足が実情であり、今後もこのような制度を創設し、安心して暮らせる地域社会の実現に努力してほしい。

鷹薮保健福祉課長

①直接聞き取りは行っていないため、今後行いたい。

②分析はしていないが、10名以上応募があった時点で講習を実施する考えであった。

③恒常的な人材不足解消のため、本研修はもとより、実務者研修等

商工費

新冠温泉施設建築改修工事

502万4千円

荒木議員

平成26年度に実施した温泉施設老朽化調査の結果報告に基づく改修か。

原田企画課長

現場の声を聞いた上で恒久的に取組むべき施設の改修を行うもの。平成26年度の調査については、事業費が過大となるものであり、今後検討したい。

荒木議員

LED照明器具の交換にあたっては、節電、使用期限、費用対効果等を考慮し交換するものと思うが、ホテル新館や温泉棟については交換済か。

原田企画課長

今後計画的に検討していく。

但野議員

温泉宴会場のストープは2基新設とするのか。

原田企画課長

冬期間の冷え込みが厳しい時期には、暖房効果が低下するため新設する。

但野議員

現状施設のエアコンで賄っていて、冬期間対応のためストーブを新設ということだが、エアコン自体の老朽化によるものではないのか。エアコンの修理、修繕よりもストーブ新設が安価ということか。

原田企画課長

電気と石油を比較した結果、石油の方が低コストで対応できるといった部分も含め、ストーブを新設するもの。

但野議員

エアコンは作動させず、ストーブだけということか。併用とするのか。

原田企画課長

状況を見て柔軟に対応したい。

秋山議員

屋根改修が一部残っているが、実施時期は。

原田企画課長

金額が過大となることから今後検討していきたい。

土木費

除雪業務委託料

450万円

武田議員

大雪除雪の際、あいあい荘の入り口を結果塞ぐような形となって

いたことから、救急車等緊急車両が入る可能性もあるため配慮いただきたいが。

関口建設水道課長

基本的に市街地については除雪を行っていないが、大雪であったため行ったもの。指摘いただいた箇所については、今後注意して対応したい。

消防費

Jアラート受信機購入費

507万9千円

荒木議員

①Jアラート及び防災無線の試験結果に異常はなかったか。
②今回受信機を購入するに至った経過は。

坂本総務課長

①異常はない。
②平成31年3月をもって現機種に対する受信ができないため、今年度中に更新しなければ非常時にJアラートが作動しないことから更新するもの。

荒木議員

国の都合なのか町の都合なのか。国の都合であれば国庫補助金等を活用すべきでは。

坂本総務課長

国の都合。町としては国の都合によってせざるを得ないものに対し財源措置を探っていたが、国庫補助等財源措置がなく、緊急防災対策事業として70%が交付税措置される起債で対応せざるを得ない。

教育費

社会科副読本作製費

281万3千円

荒木議員

作製する社会科副読本の役割は。

工藤管理課長

小学校3年～4年生の社会科授業で使用する教材。主な学習対象を身近な地域とし、地域社会への浸透、公民的資質の基礎を養うとともに、ふるさと教育を進める上で大変重要と考えている。

荒木議員

①置き勉の話題は編集委員会ではなかったか。
②作製数、製本サイズ、ページ数等わかる範囲で伺う。

工藤管理課長

①編集委員会では話が出ていないが、文科省から置き勉に対する通知もあるため、校長会において調査を進めるよう考えている。
②数量310冊、製本B5版、本文164ページ、カラー写真約

200枚、イラストが90カット、カラー作図作表、カラートレース作成挿入約80点。

荒木議員

①平成31年度は3年～4年生へ配付し、平成32年度以降は新3年生に配付するということでしょうか。
②何年間使用すると見越して310冊としたのか。

工藤管理課長

①その通り。
②4年間隔における冊数。



一新される社会科副読本

少年国内研修交流事業費

7万8千円

荒木議員

①昨年度参加者が少なかったことから、今年度の事業実施に向け本事業の魅力をもっとPRすることになったが、どのように行ったのか。
②学校別男女の応募状況は。

湊社会教育課長

①事前事後の研修で事業の意味・意義を理解していただき、研修内容を理解していただくこと。

また、事業経過をまとめたDVDを各学校で放映していただくとともに、学校にも協力を依頼し、児童生徒に声掛けを行った。

②新冠小学校は、対象51名の中で応募が男子1名、女子6名。朝日小学校は、対象14名の中で応募が女子5名。新冠中学校は、対象34名の中で応募が男子6名、女子3名。合わせて男子7名、女子14名、合計21名。

荒木議員

事前事後研修開催予定は何回か。

湊社会教育課長

事前研修、事後研修ともに3回の予定。

一般会計（歳入）

コミュニティスクール

推進事業補助金

20万4千円

但野議員

今年度における進捗状況は。

工藤管理課長

2年間の学校評議員制度の導入に向け、5月14日に新冠町コミュニティスクール推進委員会を立ち上げており、当町に合った学校運

営評議会制度の概略について協議を行った。今後も内容を深め取組んでいきたい。

牧野使用料

285万3千円

竹中議員

①計画に対し預託頭数の増と思うが、その頭数は。

②預託頭数の上限は。

③町外からの受け入れ頭数は。

堤町有牧野所長

①計画240頭であったが、現時点では292頭。ピーク時では310頭ほどで入牧頭数は増加している。

②人員や天候状況にもよるが、300頭を目途に受け入れ可能と考えている。

③全てホルスタインで46頭。

竹中議員

受け入れ頭数は300頭ほどが限度とのことだが、体制を再構築し、受け入れ規模増加の考えはないか。

堤町有牧野所長

ソフト面、ハード面ともに対応しきれていないため、今後協議し検討したい。

竹中議員

通年の預託体制についてどう考えているか。

堤町有牧野所長

そういった要望はあるが、莫大な投資を伴うことのため、協議を行った中で検討したい。

財政調整基金繰入金

8179万3千円

氏家議員

①前回の財政調整基金の残高は。

②平成28年度決算額からの増減は。

③現状を踏まえ、今後多くの公共施設の更新が迫っている中、どのような見通しを持っているか。

坂本総務課長

①9月補正後の見込み額は6億6479万1399円。

②平成29年度末から3億1217万3000円減少。

③地方交付税の額により大きく左右されるが、歳出の削減等を図りながら基金を取り崩すことのないよう努めていきたい。

少年国内研修個人負担金

1万5千円

堤議員

要保護、準要保護の家庭について、負担金の考え方は。

湊社会教育課長

社会教育課として要保護、準要保護の家庭であるという情報を得ることができない。

第3回定例会

条例改正

◎集会施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

【内容】使用頻度も少なく、老朽化も著しいことから、自治会と協議の結果、東川生活改善センターを解体し、所要の改正を行うもの。（原案可決）

長浜議員

①解体費用は。

②解体前に活用等の検討は行ったのか。

関口建設水道課長

①129万6000円。

②利活用の要望もなく、民地であるため解体としたもの。

意見書の提出

第3回定例会において、以下の意見書が採択され、各関係機関へ提出されています。

◎林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

特別委員会の設置

平成29年度新冠町一般会計他6件の会計に係る決算認定について、議会として慎重審議するため、議長及び議選監査委員を除く議員全員で構成する「平成29年度新冠町一般会計等決算審査特別委員会」を設置し、審査することとなります。

特別委員会の開催期日は、11月5日から8日及び12日で、審査項目は以下の通りです。

○新冠町一般会計歳入歳出決算認定

○新冠町簡易水道事業特別会計

歳入歳出決算認定

○新冠町下水道事業特別会計

歳入歳出決算認定

○新冠町国民健康保険特別会計

事業勘定歳入歳出決算認定

○新冠町後期高齢者医療特別会計

歳入歳出決算認定

○新冠町介護サービス特別会計

事業勘定歳入歳出決算認定

○新冠町立国民健康保険診療所

特別会計歳入歳出決算認定

各委員会の

活動状況

平成30年7月～平成30年10月

総務産業常任委員会

○9月3日

- ・集会施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- ・一般車両の事故に係る損害賠償の和解及び損害賠償額の確定について

社会文教常任委員会

○7月23日

- ・浦河赤十字病院精神科外来の休診について
- ・新冠町立小中学校におけるブロック塀の調査結果について
- ・新冠中学校付近における草刈り作業中の飛び石事故について

○9月3日

- ・デイサービスセンターの運営について
- ・平成30年度少年国内研修交流事業について
- ・平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について
- ・社会科副読本「にいかっぷ」の作製について

- ・新冠町重度障がい者福祉ハイヤー利用料金助成事業について

議会広報常任委員会

○7月13日

- ・議会だより213号作成

○7月30日

- ・議会だより213号作成

○8月22日

- ・平成30年度北海道町村議会議員広報研修会参加

○10月17日

- ・議会だより214号作成

○10月26日

- ・議会だより214号作成

議会運営委員会

○7月23日

- ・議会運営について

○9月10日

- ・平成30年第3回新冠町議会定例会の運営について

○9月13日

- ・平成30年第3回新冠町議会定例会の運営について

全員協議会

○9月11日

- ・議会運営事項の報告について（第3回新冠町議会定例会）

○9月14日

- ・新冠町固定資産評価審査委員会委員の選任について
- ・集会施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

・議会運営事項の報告について（第3回新冠町議会定例会）

- ・ホクシリ乗馬クラブ配置計画案について
- ・平成29年度国保診療所病床数に係る特別交付税の過大交付について

議会広報研修会に参加

平成30年8月22日、札幌市で行われた議会広報研修会に参加しました。住民の方によりわかりやすく、見やすいものとなるよう他市町村の広報誌を参考として解説を受けました。全体のレイアウトや見出し等の協調など多岐にわたりましたが、心掛けるべきは誰が見ても理解できるものであること。今後も、開かれた議会の実現を目指し、わかりやすい広報誌となるよう努めていきます。



議会広報研修会の様子

こころ

～あなたは何屋さん?～



字朝日 中地 広大さん

私は新冠町朝日で牧場業をしています。毎日が仕事、毎日が休みです。副業として文筆や写真撮影の仕事もしています。馬の生産や商業について学びつつ、先々、外貨獲得を目指した地域ビジネスや観光振興、人手不足に悩む一次産業への就職支援や人口減少している新冠町への移住定住PRに、少しでも貢献したいと考えています。

記述の通り、複数の仕事を掛け持ちしていると「あなたはいったい何屋さんなの?」と聞かれることがあります。その度に、自分自身が中途半端で、まっとうな社会人ではないかと思うことがありました。

ただ、最近ではそうした変人?ぶりをポジティブに考えるようにしています。時に安定した職業の人たちがうらやましく思いますが、時代の変化するスピードの速さを思うと、もはや「何屋さんであれば間違いない」ということはないと思うからです。これからも、変幻自在なライフスタイルで自分を貫いていきたいと思えます。

Topics

議会の話題

第34回東京新冠会 総会に出席しました

去る10月28日(日)に開催された東京新冠会総会に新冠町議会議員が出席しました。今回の出席は、議員研修に併せて出席したのですが、東京新冠会からは大変温かく迎えられました。

郷土新冠を遠く離れ、東京で活躍する会員の方々からは新冠町の近況を尋ねられたほか、出席議員と旧交を温める場面もあり、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

郷土を離れても色あせることのない郷土愛を東京新冠会の皆さんから感じたことで、まちづくりへの責任をあらためて実感しました



あとがき

「思いは人を繋ぎ
更なる縁を紡ぐ」

ダイヤがダイヤでしか磨かれな
いのと同じように、人は人でしか
磨かれませんが、「磨く」という行
為には摩擦が生じます。何かを成
し遂げる際、真摯に向き合い衝突
し、議論を尽くす中、そこで流す
汗や涙が人を結ぶ接着剤となり、
潤滑油となるのです。

天災に見舞われても秩序を乱さ
ず他者を労わるなど、他国から賞
賛すらされるその気質は、決して
奪われることはなく、また枯渇も
しません。これからを担う子ども
たちに、我々が見本となつて示し
ていかなければならないのです。

「当たり前はみんなの最大限の
努力で成り立っている。」

今号のあとがき担当

長浜 謙太郎

議会広報常任委員会

委員長 竹中 進一

副委員長 長瀬 謙太郎

委員 須崎 栄子

委員 荒木 正光

委員 須崎 栄子

発行責任者 長芳住 革二

この議会だよりは、会議録に基づいて議会広報常任委員会が内容を要約し、掲載しています。新冠町議会の情報は町ホームページでご覧いただけます。また、レ・コード館図書プラザに「閲覧用会議録」を配備していますのでお気軽にご覧ください。【年4回発行】